

**令和元年度 豊中市総合計画審議会  
第2回 第一部会**

【日時】令和元年（2019年）10月31日（木）18時～

【場所】豊中市役所第二庁舎3階大会議室

**次 第**

**1. 前回の振り返り**

**2. 2019年度(2018年度実施分)政策評価結果の施策シートについて**

＜施策シートに対する審議会の役割＞

- ・第三者の立場から、以下の3点を確認します。
  - ①政策評価が事実に基づいて、正しく評価されているか。
  - ②PDCAサイクルがまわるような書き方になっているか。
  - ③市民が読んだときにわかりやすくなっているか。

**3. その他**

＜今後の日程＞

○第2回全体会

11月15日（金）18時～（豊中市役所）

**＜資料＞**

【資料1】2019年度(2018年度実施分)政策評価結果

【資料2】令和元年度第1回豊中市総合計画審議会第一部会の主な意見

【参考1】第4次豊中市総合計画（本編）

【参考2】第4次豊中市総合計画（概要版）

【参考3】令和元年度第1回豊中市総合計画審議会第二部会の主な意見

## 令和元年度第 1 回豊中市総合計画審議会第一部会の主な意見

## 1. 評価シート全体について

番号	意見
1	シートによってはP D C Aのうち、D C Aが明確に区分されておらず、わかりにくいものがある。 (Pは施策名、D C Aは総合評価の理由に書かれているが、PからD C Aにつながっていないものがある。方向性シートから施策シートに集約するためだと思われるが、Pの評価なので、Pを意識する必要がある。)
2	D、CとAの整合性が取れていないシートも見受けられるので、チェックの結果(課題や問題点)に対するアクション(今後の方向性)になっているか。また、それはあげられている指標から判断できるのかを確認する必要がある。(それぞれがつながっていないと読んだときに理解できる文章にならない。)
3	よく書けているシートをモデルにして、全庁で共有していくことも必要である。
4	施策シートと施策の方向性シートとのすみわけをどうするのかを整理する必要がある。 (施策シートについては、細かく書くというよりは、結果として「A,B,C」と判断したその根拠を書くものである。当初の想定通りの進捗、成果なのか、想定外であれば、それがハンドリングできているかという観点で記入するのがよい。細かいD O(事業)や判断指標・成果については、施策の方向性にきっちり書くということで整理をしてはどうか。)
5	市民(読み手)が知りたいことを意識して書く必要がある。
6	現状は定量評価が多くなっているが、次年度は定性評価として示すものをもっとあってもよいのではないか。
7	現在の評価シートは、「今年度取り組んだこと、まだ残っている課題、今後取り組んでいくこと」の書き方になっているが、「課題に対して取り組み、今年度はここまでできた。しかし残っている課題として〇〇がある」という書き方にした方がいいのではないか。
8	評価シートによって事業の多さにバラつきがあるので、書き方を工夫する必要がある。 (例) ①代表的なものを選んで書く ②機能ごとに取りまとめて書く
9	評価シートには、課題が中心となりがちだが、市職員の自己肯定感を高める効果もあるので、取り組みの成果部分(P R)をもっと書く必要がある。

10	評価シートを書いた後に、自分自身でチェックする必要がある。書いた内容について根拠があるのか、データ（指標）で示すことができるのかの視点でチェックする。
----	---

## 2. 各評価シートについて

## (1) 第1章-1「子育て支援の充実」(P15)について

番号	意見
1	DCAが明確に区分されていないので、CAがまわっているかが判断しづらい。
2	P35の施策の方向性シートでは、問題点・今後想定される事項の「○」が2つに対し、今後の方針の「○」は4つということで整合性がとれていない。内容を見てみても対応していないので、この部分でCAが不整合を起こしており、施策シートもうまく書けていないのではないかと推察する。

## (2) 第1章-2「保育・教育の充実」(P16)について

番号	意見
1	DCAの切り分けが不明確である。 (「取組みが必要である」はCheckの段階で、Actionになっていない。)
2	施策の方向性シートから施策シートを意識することも大事だが、Pから施策シートに対して意識することにより、Pがどう受けているか、何を書かないといけないかというところも、より明確化してくる。
3	P38の施策の方向性シートでは「保育や幼児教育の充実を進めます」の結果として、研修の参加者数の指標だけでは不足しているので、検討する必要がある。
4	P39の施策の方向性シートを見ると、総花的な指標の印象を受けるので、実務と乖離しないよう注意する必要がある。

## (3) 第1章-3「子ども・若者支援の充実」(P17)について

番号	意見
1	自尊感情は測るのが難しいものなので、文章の書きぶりを変えるか、根拠となる指標を示す必要がある。
2	「貧困の世代間連鎖を断つという目的を果たせました」とあるが、世代間連鎖が絶たれたかどうかは、その子どもたちの将来に関することなので、表現を変えた方がよい。
3	今のシートはまとめすぎていて、具体的に何かの部分がわかりにくくなっているように感じる。

4	P17の2つ目の○で、1つの○の中に「関係機関等と連携して支援を行い、相談しやすい環境づくりに努めました」と「関係課と連携した多面的な取組みにより、更なる包括的な支援体制づくりを強化します」という同じような表現が繰り返されているが、その間に本来は評価が必要である。
5	相談件数が増加していることをもって未然防止や重症化を防ぐとは言えないので、増加したところが成果というふうにとどめておくべきである。

## (4)第2章-1「自立生活支援の充実」(P18)について

番号	意見
1	文章が長いので、もう少し文章としてのわかりやすさが必要である。
2	福祉の分野で、市の取組みではなく、外部の要因で変化するもので、自治体の努力ではどうにもならないものについては、制度を変えない限り市ではどうしようもないというストレートな意見を書いてもよい。そうすると現場が苦勞していることを市民と共有できる。
3	施策シートと施策の方向性シートで似たような内容を書いているので、施策シートに書くものと施策の方向性シートにとどめておくものを分けて調整する必要がある。
4	福祉便利屋事業や地域ケア個別会議など、かなり具体的な細かい事業まで書いているが、全体のストーリーという点では、大きくどういう成果があったのかを書いて、個別は施策の方向性シートで書くにとどめた方がよい。
5	子どもの貧困や地域包括ケアという現代的で重要な柱やトピックがあるので、市民が知りたいことを推測して、そこに寄り添う形で文章を書けばメリハリがついてくる。
6	1つ1つの事業名で説明をすると、主語述語の羅列になって書きづらいので、手法を考える工夫が必要である。代表的なものを書く、もしくは機能で取りまとめて「サービス面に関しては概ね前年と同様にできていますが、歳入・歳出面に関しては厳しくなり苦勞も増しているが、対応しています」というような書き方もある。やや抽象度は上がるが、細かいことは施策の方向性シートを見てくださいと割り切ってもよい。

## (5)第2章-2「保健・医療の充実」(P19)について

番号	意見
1	Aに「必要です」という書きぶりは、もっとやらなければならないことがあるということなので、Cに「課題です」と書くべきである。
2	市民全体の保険状態をどうしたか、行き届かないところがあったのかなどの書き方をするとよい。

3	市役所が追いかける指標だけを取り上げるのではなく、民間で行っているものもあり、データとしては取りにくい、社会の全体像の把握することも今後は必要である。
---	---

## (6) 第2章-3「消防・救急救命体制の充実」(P20)について

番号	意見
1	「概ね達成しました」ということから、どこまでできているのかもわかり、さらに必要なこともあるので頑張りますということまで書いてあるので、わかりやすい。

## (7) 第2章-4「暮らしの安全対策の充実」(P21)について

番号	意見
1	「やったこと・それに対する効果・今後頑張るべき課題」の3段階で書いてあり、メリハリがついていてわかりやすい
2	この施策については、警察等との緊密な連携を取っていることが指標として証拠になるので、会議の開催頻度を書いてもよい。
3	近年地震や水害の危険性が高まっているが、そこに対する言及がシートには書かれていないので、市民の関心も高いことから、万全の体制を取れている、もしくはまだ課題として残っているなどを書いたほうが良い。

## (8) 第5章-1「情報共有・参画・協働に基づくまちづくり」(P30)について

番号	意見
1	1つ目の○で「電子媒体を利用していない市民等に対する情報発信の手段の確保・充実が課題となっており、特に災害時など緊急情報の発信について検討が必要です」と書いているが、その対策をどうするのかが書いていない。そして次からは「SNS」の話になっていて、SNSが使えない人への対応が必要だと書いているのに、次にSNSが出てくるのは違和感がある。
2	地域自治組織をこれからすべての地域で立ち上げて地域自治を推進したいという柱を掲げているのに、新千里北町地域自治協議会しか書いていない。市全体として現状はどうなのか、今年度頑張っていることはなにか、というメッセージをここに載せておくべきである。
3	人数のフォロワー数はあまり意味がないので、例えばツイッターアクティビティと呼ばれる、どれくらいの人が見てくれたか、反応してくれたかというので評価したほうがよい。

## (9) 第 5 章－2 「持続可能な行財政運営の推進」(P31)について

番号	意見
1	2 つ目の○で「本市の誇るべき歴史とその意義を市内外の人に実感してもらうことができました」についての根拠データが見当たらないので、根拠データを示すか、データがないのであれば書きぶりを調整する必要がある。
2	ペーパーレス化が進んでいるからと言って財政が健全だとはなかなか思えないので、行財政の健全性は今どうなっているのか、それに対して昨年度は何をしたのか、どういう課題が残っているのかということここでは書くべきである。ただし、市民にはなじみがない数字なので、わかりやすくするために注釈をつける必要がある。

## 3. その他

番号	意見
1	それぞれの施策に詰め込んでいる事業の度合いがアンバランスになっているので、そのあたりのバランスをとる必要がある。
2	評価をするようになって初めて施策の説明文章が妥当であるかが見えてくるので、次回総合計画を作り直すときは評価のことも考えて、施策の文章を作成する必要がある。

## 令和元年度第 1 回豊中市総合計画審議会第二部会の主な意見

### 1. 評価シート全体について

番号	意見
1	用語集に載っていることがわかるような印がないと、市民は用語集を見ないので、検討する必要がある。
2	施策の方向性シートでは具体的に成果、問題点・今後想定される事項、今後の方針とPDCAを書く欄があり、書きやすくなっているが、施策シートの総合評価の理由では、PDCAが書けていないシートがある。施策の方向性シートに書いた内容をまとめて施策シートに書く必要がある。
3	「B」評価で「順調に進んでいるが一部取組みの見直しが必要です」と書くのではなく、見直しの具体的な内容を書く必要がある。これを書くことで、「A」と「B」の評価の線引きもできる。

### 2. 各評価シートについて

#### (1) 第 3 章-1 「快適な都市環境の保全・創造」(P22)について

番号	意見
1	総合評価の理由の 2 つ目と 3 つ目の○は具体的に書かれているが、1 つ目の○は施策の方向性シート P57 と見比べると施策の方向性シートの方が詳しくなっている。シートの中での統一感はあった方がよい。
2	P57 のシートの今後の方針の 2 つ目の○には、「子育て世代」とターゲットを絞っているが、施策シートではわからない。もしターゲットが定まっているのであれば、施策シートにもそれを書いたほうがよいし、来年度の評価をするときも振り返りやすくなる。
3	豊中市は河川環境にも力を入れられているので、河川の美化やふれあいについての記述も検討した方がよい。
4	市民になじみが出るよう「天竺川の清掃」などの具体的な事業を施策の方向性シートに記述してもよい。

## (2) 第 3 章-2 「低炭素・循環型社会の構築」(P23)について

番号	意見
1	1 つ目の○で「平成 28 年度(2016 年度比)と比較し、約 11.7%減少しました」と具体的に書いているが、2 つ目の○では「焼却処理量は微増しました」と数値を書いていない。客観的にみることができるようできるだけ数値を記入したほうがわかりやすい。
2	総合評価の理由の最後の文に「今後生じる恐れがある気候変動の影響を踏まえた取組みが必要である」とあるが、影響も千差万別のことなので、影響の中身を書かないと伝わらない。気候変動の防止に向けたぐらいでとどめておいた方がいいと思う。

## (3) 第 3 章-3 「都市基盤の充実」(P24)について

番号	意見
1	自転車の対策や建物や道路整備については多くの課題があるので、その内容を具体的に書く必要がある。
2	P63 の 4 つ目の指標で、点検した割合だけでなく、点検の結果要望があったことに対する改善率などの指標を検討してはどうか。

## (4) 第 3 章-4 「魅力的な住環境の形成」(P25)について

番号	意見
1	総合評価の理由の最後の文に「事業全体は順調に進んでいますが、今後さらなる充実が必要」とあるが、課題として何が残っているのかを書く必要がある。
2	P67 の 2~4 つ指標名で「累計件数」とあるが、目標値が増加というのは設定がおかしい。累計件数は減ることがないのに、増加という設定はおかしいので、次年度以降検討する必要がある。

## (5) 第 3 章-5 「産業振興の充実」(P26)について

番号	意見
1	P70 のシートの 1 つ目の指標に「開業率」があるが、「廃業率」もあった方が、活発さがわかるので、検討してみてはどうか。
2	P70 の 2 つ目の指標では、相談件数しかわからないので、その他の支援の指標も検討してはどうか。



## (6)第 4 章-1「共に生きる平和なまちづくり」(P27)について

番号	意見
1	具体的な書き方になっていない部分があるので、シートの中で書きぶりを統一する必要がある。
2	P71 の指標については、1 つ目で「開催事業数」、2 つ目で「参加者数」としているが、事業数が増えれば参加者数が増えるのは当たり前のことなので、2 つ書く必要はない。他の指標を考えるべきである。
3	全体を通しては、様々な人権課題についての指標があるが、さまざまな取組み項目があると思われるので、指標の取り方については偏らないように検討する必要がある。
4	P27 の 3 つ目の○で「多言語での情報提供量を充実させていくことが引き続きの課題です」とあるが、もう少し具体的に書いたほうがよい。
5	多文化共生では、豊中市に来訪する外国人だけでなく、迎え入れる日本人側の多文化共生への心構えの学びや啓発の評価もあった方がよい。